



2026 年8月5日

各 位

会 社 名	株式会社インテージホールディングス
代 表 者 名	代 表 取 締 役 社 長 仁 司 与 志 矢 (コード番号 4326 東証プライム市場)
問 合 せ 先	取 締 役 竹 内 透
電 話 番 号	0 3 - 5 2 9 4 - 7 4 1 1 (代 表)

配当方針の変更に関するお知らせ

1. 変更理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置づけており、資本効率を重視し、最終利益を全額「成長投資」と「株主還元」に振り向け、企業価値を長期的に向上させていくことを基本方針としております。

今般、中長期的な企業価値向上に向けた成長投資の推進と、企業の成長に応じた安定的かつ継続的な株主還元の拡充を実現していくため、配当方針を変更することといたしました。

具体的には、新たにDOE（純資産配当率）5.0%を下限として設定いたします。あわせて、第15次中期経営計画期間（2027年6月期～2031年6月期）におきましては、引き続き「累進配当」を継続する方針といたします。

2. 変更内容

（変更前の利益配分に関する基本方針）

当社は、グループ経営の成果であります連結業績をベースに、配当と成長投資のバランスを考慮した利益配分を行うことを基本的な考え方としており、第14次中計期間の配当は累進的とし、最終年度の2026年6月期の連結配当性向は50%を目指し、ROE（自己資本利益率）は12%を目標にしております。また、自己株式の取得につきましても、機動的に対応し、資本効率の向上を図ってまいります。

剰余金の配当につきましては、中間配当及び期末配当の年2回を基本的な方針としております。配当の決定機関は、中間配当を行う場合は取締役会、期末配当を行う場合は株主総会であります。

（変更後の利益配分に関する基本方針）

当社は、グループ経営の成果であります連結業績をベースに、中長期的な事業成長と財務状況を総合的に勘案し、将来に向けた成長投資と安定的な株主還元とのバランスを考慮した資本配分を行うことを基本的な考え方としております。配当につきましては、資本効率と還元の安定性を重視し、DOE（純資産配当率）5.0%を下限とし、2031年6月期を最終年度とする第15次中期経営計画期間の配当は累進的といたします。あわせて、ROE（自己資本利益率）12%の達成に向けた資本効率の向上を図ってまいります。また、自己株式の取得等につきましても、機動的に対応し、さらなる資本

効率の向上を図ってまいります。

剰余金の配当につきましては、中間配当及び期末配当の年2回を基本的な方針としております。
配当の決定機関は、中間配当を行う場合は取締役会、期末配当を行う場合は株主総会であります。

3. 変更の時期

2027年6月期より適用いたします。次回中間配当の基準日は、2026年12月31日となります。

4. (参考) 2027年6月期の配当予想

	年間配当金			配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間	期末	合計		
2025年6月期	円 銭 22.50	円 銭 22.50	円 銭 45.00	49.0%	5.3%
2026年6月期	24.00	24.00	48.00	107.7%	5.5%
2027年6月期(予想)	25.00	25.00	50.00	47.8%	—%

以 上